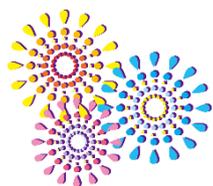


こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。



## 「おやこ舞台鑑賞会」が できるまで

毎年7月下旬から8月上旬は舞台作品の下見の季節です。

代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターには全国から劇団が集まり、演劇・人形劇・音楽会・パントマイム・影絵など30作品以上の子ども向け舞台作品が上演されます。ほぼ同時期、新宿プーク人形劇場を中心会場に、児童・青少年演劇フェスティバルも開催されます。

「これはぜひ柏の親子に届けたい」という作品に出会うことを期待し、私たちは足しげく会場に通います。そのほかにも、一年を通し劇団からのお誘いや気になる作品を千葉県内あるいは都内まで観に行きます。

魅力的な作品に出会えた時はとても嬉しいものです。魅力的な作品とは、感動的なもの、楽しいもの、元気や勇気が湧いてくるもの、大笑いするものと様々ですが、“心が揺さぶられるもの”です。

これはと思う作品と出会ったら上演料や理想観客数、対象年齢を調べ、柏での公演が可能かどうか検討します。会場の確保と劇団との日程交渉。すべてがマッチしてようやく「NPO こどもすぺーす柏 おやこ舞台鑑賞会」の作品が決定します。

それから開催に向けて劇団と顔を合わせて作品について理解を深め、オリジナルのチラシを作ります。シリーズ化したチラシで、手に取ってすぐ私たちのチラシとわかるような工夫もしてい

ます。

私たちは毎回、心から子どもたちに出合ってほしいと願う作品を提供しています。感動は心を育てます。想像する力、相手を思いやる心、勇気や愛情。

どうぞ、これからもこどもすぺーす柏の舞台鑑賞会にご期待ください。



おやこ舞台鑑賞会 No.57

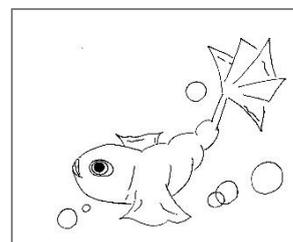
## 「金のさかな」「アナンシと5」

(ぱびぷぺぼ劇場)

9月13日(日) アミュゼ柏プラザ

この作品は、3年ほど前にデイキャンプのあそびのコーナーで上演されました。初めて人形劇を観る子ども達が多数だったにもかかわらず、おとなも子どもも終始釘付けだった印象が強く残っています。

「金のさかな」は、グリム童話「漁師とおかみさん」が原作となっています。お話は作者によってストーリーや結末に違い



金のさかな

連載 明橋先生の  
子育てハッピーコラム⑧  
(3面)

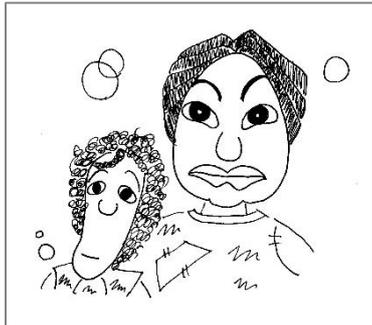
「どうしたら子どもにキレなくてすむのでしょうか？」



が生じるものですが、今回は劇団の思いも込められた結末です。

人形づかいの素晴らしさは言うまでもなく、人形を動かしながらの場面づくりのすばやい動きは見事なものです。曲は全てクラシック（主にピアノ曲）なので、クラシック好きの方には楽しみの一つだと思います。

「アナンシとら」はジャマイカ民話です。ペープサートという紙で作られたものを想像しますが、動きをつけるために木で作るなど、工夫されています。



「金のさかな」漁師とおかみさん

お話はもちろんのこと、悪賢いアナンシの動きにも注目したいと思います。

## 放課後子ども教室に協力

柏市放課後子ども教室は、平日の自主学習を支援する「ステップアップ学習会（今年度より名称を変更）」と、土曜日の自由な体験活動「土曜講座」に分けられます。

ステップアップ学習会は、市内の全小学校で実施することを目標に、毎年徐々に学校数を増やしています。また、土曜講座については市内何ヶ所かの学校を利用して、行っています。

これは柏市教育委員会の生涯学習課の事業です。どちらも地域の大人がスタッフや講師を担うことで学校や子どもたちを支えています。

私たちは、以前から土曜講座の講師と柏第三小学校でのステップアップ学習会のスタッフ（学習アドバイザー）を担当してきました。

さらに夏休みに青少年センターで行われる「夏休み放課後子ども教室」の講師も担当しました。

今号では、夏休みの講座の様子とステップアップ学習会についてご報告します。

## 1 「ポップアップカードをつくろう！」

今年も夏休み放課後子ども教室でポップアップカード講座を行いました。子どもたちは19名。私たちも、どんなポップアップカードにするか、材料、説明方法などの検討に入ります。スタッフが一番頭をひねるところです。たった2時間です。子どもたちは、楽しく、やりたいように、創造力を発揮できるか。そのために、どこに時間をかけるか、どこまで用意するか…

ああでもない、こうでもない、と話し合います。昨年の事も思い浮かべ、見直ししながら準備を進めます。

講座当日は、どんな子どもたちに出会えるか、わくわくしながら青少年センターで会場の準備。時間になると子どもたちの声。

あ、元気そう 恥ずかしがり屋？ 兄弟同士 緊張してる…と子どもの様子を見守ります。挨拶をして、いよいよ製作に。子どもの気持ちを一番に、そして寄り添いながら、ポップアップカードをワイワイと作りました。どれも世界に一枚のカードになりました。

できたてのカードをすぐにお母さんに渡す子、お友達のお誕生日に合わせて作った子、夏休みの宿題に出す子、と様々ですが、2時間しっかり集中して、完成させたみんなは、笑顔いっぱいで行きました。

来年もできたらいいね。 (T)

## 2 ステップアップ学習会

私たちが柏第三小学校でステップアップ学習会に協力して5年目になりました。先生でもなく、保護者でもない地域の大人が、子どもたちを見守り、励ましながら自主学習の支援を行っています。

今年度は新たに始まる学校が多いためか、年度始めに合同の説明会が行われました。事業の概要、アドバイザーの心得、児童への対応の仕方など、子どもたちが放課後の1時間を、意欲をもって進められるような運営方法について説明がありました。(p.6へ)



明橋先生の

## 子育てハッピーコラム⑧

### 「どうしたら子どもにキレなくてすむのでしょうか？」

『子育てハッピーアドバイス』（1万年堂出版発行）より



自分の子どもには、明るくて、素直で、ご飯もたくさん食べて、外で元気に遊んで……、とたくさんを期待してしまいますね。でも実際は、ご飯はなかなか食べないし、食べてもすぐにこぼすし、「自分でやる！」と言ったってちっとも上手にできなくて、本当にイライラさせられます。今回は、明橋先生に、どうしたら子どもにキレなくてすむのか、教えていただきました。

「子どもの相手をしていると、ついついカッとなって、キレてしまう。どうしたらキレなくてすむのか」

一生懸命、子どもに関わっておられるからこそ、出てくる悩みだと思います。

子どもにキレてしまう心理は、いったいどういう心理でしょうか。だいたい、次のようなものがあるといわれています。

- (1) 子どもに、非現実的なことを求めている
- (2) 子どもの言動を、被害的にとってしまう
- (3) 親が、過度の責任感を持っている

今回は、(1) について考えてみます。まず、子どもの現実とは何でしょう。

①子どもは、自己中心的です。

（まだ、相手のことを考える能力が育っていません）

②子どもは、失敗します。

（未来を予測する能力が育っていません）

③子どもは、言うことを聞きません。

（人の意見を冷静に聞く能力が育っていません）

こういう子どもに、思いやりや、失敗しないことや、すべてハイハイ言うことを聞くことを求めると、当然、思うようにならなくて、腹が立ちます。

でも、これが子どもの現実なのです。こうであって、普通の子どもの現実なのです。まずそれを認めましょう。

しかし、このことは決してマイナスばかりではありません。

この3つは、次のように言い換えられます。

①相手のことを考える能力の前に、まず自己主張する能力が必要です。それが、健全に育っている証拠です。

②失敗によって、さまざまなことを学ぶ機会を得ています。

③自立心の表れです。

いかがでしょうか。まず、子どもさんのありのままを認めることから始めましょう。

#### ■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長。

著書『子育てハッピーアドバイス』ほか多数。



子どもは自己中心的です。



子どもは失敗します。



子どもは言うことを聞きません。



川あそび1

3日間  
鬼っきり  
遊んだ!!



朝ごはんは子どもの担当



スイカ割り



「キャンプって

やっぱりいいなあ。」と実感した

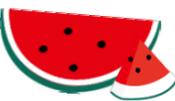
2泊3日の旅。もうおばちゃんになったし、若いパパ、ママ、お子さま達となじめるかなあという不安は集合した瞬間になくなりました。皆様フレンドリーで、幼稚園児~大学生までの子ども達のかわいい事たらありません! 子どもに自然の中でさまざまな体験をさせたいという保護者の方達の意気込みも素敵です。

小4の娘も女子グループや若者の跡を追っかけて、母さんに寄ってこない。楽しかったのね♪ 同じバンガローのママ達とも、子育てや人生を語り合い、NPO こどもすべーす柏の会員さんとも話題が付きず、セラピーのように心が癒されました。これは参加しないと味わえませんよ!

(Y)



川あそび2



農業公園の長いすべり台は大人も夢中



最後に集合写真。

10年ほど前、私が小学1年生の時、NPO こどもすべーす柏の前身である「柏子ども劇場」主催の親子キャンプに参加しました。大学生になり夏休みの計画を練っている際に、キャンプで大学生のお姉さんやお兄さんと遊びとても楽しかった記憶が蘇ってきました。そこで、今回このキャンプにボランティアスタッフという形で参加させていただきました。

当日、事前交流会で一度顔を合わせているとはいえ、キャンプに向かうバスの中はなじみのない方ばかりで寂しくキャンプ場へ到着しました。しかし、キャンプでの川遊びやキャンプファイヤー、サイエンス教室などを子ども達と一緒に楽しむ中で、私のあだ名を呼んでくれる子どもが段々と増え、3日前は顔と名前が一致していなかったとは思えないほど仲良くなりました。人見知りの私ですが、自然の中で伸び伸びと過ごすことができたためか、子どもたちだけでなく他のスタッフの方や保護者の方とも楽しくお話をすることができました。

飛び入り参加の形ではありましたが、このキャンプに参加したことで、普段あまり接する機会のない方々とふれあい、たくさんの楽しい思い出を作ることができました。ありがとうございました。(N)



- 100 柏出発
- 100 キャンプ場到着
- 100 川あそび
- 100 晩ごはん
- (ひき肉カレー・スティックサラダほか)
- 虫捕りの仕掛けづくり
- 肝だめし・花火・月見(ブルーモン)
- おやすみ(大人の交流会)
- 200 朝ごはん(サンドイッチ)
- 虫捕り
- 川あそび・農村公園ハイク
- お風呂はら(おせ・おまん)
- 川あそび・草木染め・竹の工作
- 晩ごはん(牛丼・味噌汁・漬物汁など)
- キャンプファイヤー・花火
- おやすみ(大人の交流会)
- 300 朝ごはん(ホットドッグ)
- 草木染めの発表 サイエンス教室
- スイカ割り
- お風呂はら(流しそらめんほか)
- キャンプ場出発
- 柏着



(p.2より)

すでに今年も三小の3年生、26人とともに1学期の8回が終わりました。9月3日から2学期のスタートです。子どもたちに会えるのが楽しみです。

校長先生にご寄稿いただきました。



## 「ステップアップ学習会」への期待

柏市立柏第三小学校 齋藤世利子

平成19年の国の放課後子どもプランを受け、柏市においても放課後子ども教室が開始されました。本校では、開始当初から「NPO こどもすぺーす柏」の全面的なご支援をいただいてステップアップ学習会を実施してきました。週に一回、年間24回。15時から16時の1時間の学習会。学習内容は宿題・ドリルなどの補習。対象児童は3年生、現在は26名の児童が参加しています。「地域の先生方」による学習支援。その学習効果はたいへん大きいと考えています。自分のペースに合わせた学習の流れ。地域の先生であるという親しみ、そして安心感。「わからない。」と、どの子も甘えられる空気感。学校にいながら、学校でもなく家庭でもない学習の空間は、子ども達にとって心地よい学習環境をつくり出しています。和やかな雰囲気ゆえに、子ども達の緊張感がなく心配です…との声をいただいたこともあります。が、「NPO こどもすぺーす柏」の方々大切にされているところの、①やる気をもって、自ら取り組むこと、②学習って楽しいね、と実感することは、着実に達成してきているものと理解していません。学校のやるべきことをこれからも見極めつつ、「NPO こどもすぺーす柏」のお力添えのもと、本校ならではのステップアップ教室を充実させてまいりたいと切に思います。



## 柏まつり

私たちは毎年、柏まつりで「子どものお店」を開いています。100円で2度楽しめるコリントゲーム



コリントゲーム

(ゴルフボールを転がして、ピンの間を通りながら入った所で「等」が決まり、景品がもらえるゲーム)や、200円で最高ディズニーチケットが当たるくじ、紙の蓋を打ち抜いて、中に貼っているおもちゃがもらえるBOXくじ、100円から買えるおもちゃなど、「どこよりも安くて楽しめる」お店です。

数年前から中学生ボランティアを募り、お店の仕事をしながら子どもたちとの関わりを楽しんでもらっています。

毎年開店を待っている人たちもいますし、ゲームの順番を待っている人の中には「どんな活動をしている団体ですか？」と聞いて下さる方もいて、会のPRの場にもなっています。

ここで得た収入は、子どもたちのための事業を行う資金として活用させていただいています。

今年も遊びに来てくれた子どもたち、ボランティアスタッフの皆さん、テントやトラック、机や椅子など毎年快くお貸しいただいている皆様、ありがとうございました。



BOXくじ

# 理事長の徒然

井野口典子

まだ八月だというのに、この涼しさはどうしたことでしょう。どんなに暑くても夏が大好きな私としては、寂しくてしかたがありません。

どうしてこんなに夏が好きなのか。考えてみると、夏は楽しい思い出の宝庫なのです。

子どもころは夏休みになるのを待ちわびて祖父母の家に遊びに行きました。祖父母の家の近くに住む従妹たちと私たち姉妹の四人は来る日も来る日もじゃれるように遊びました。祖父は、お風呂の壁に穴を開け台所からホースを通しシャワーを作ってくれたり、夕飯を庭で食べさせたりと、あの手この手で私たちを楽しませてくれました。その時の飯盒で炊いたご飯の格別な美味しさや、食事のあと、まだ若かった叔父や叔母も一緒になっていろいろな歌を歌ったこと、負けまいと頑張る池の力エルの大合唱にみんなで大笑いしたことなど、未だに忘れない楽しい思い出です。やがて大人になり、子育て時代。子どもたちと海に山に、毎年真っ黒になって夏休みを楽しみました。

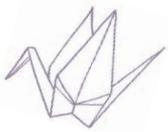
・・・少女期は 戦の日々よ 蝉しべれ・・・  
亡き母が残した句です。

私たちは「命は地球よりも重い」と教えられ、平和の中に過してきました。地球上のどの人の命も同じ重さです。最近「敵国」という言葉を頻繁に見聞きし、背筋が凍ります。

私は「柏・麦わらぼうしの会」という、平和の素晴らしさ・命の尊さを考える機会になることを目的とし、広島・長崎の被爆者の手記を朗読する会に所属しています。この夏もアミュゼ柏クリスタルホールで朗読劇を行いました。その中の一編に原爆投下前夜に美しい星空を見上げながら母子で語ったという手記があります。

「どうして戦争なんか起こるのでしょうか、止めてほしいなあ。日本にない物はアメリカから送ってもらい、フィリピンにない物は日本から送ってやり、世界が仲良くいかんものかしら。そしたら世界が一つの国家になって、世界国亜細亜州日本町広島村とすると大字上柳になるね・・・」この子はこの翌日、原爆で亡くなりました。

世界の平和のために日本がやるべきことはなんなのでしょうか。  
戦争は絶対にいやです。



## Cha Cha Cha

毎日が暑くて熱くて大変な夏でした。寝苦しい思いをした人も少なくないでしょうね。眠るといえば、子守唄はヨーロッパではブラームス、シューベルト、モーツァルトの三つが有名です。誰もが聞けばわかる曲で素敵ですが、また歌詞が幸せいっぱいなんです。

♪ブラームスの子守唄

おやすみ、バラに包まれ までしに飾られ  
布団の中で 朝になれば神さまが起こしてくれる  
でしょう

♪シューベルトの子守唄

眠れ 眠れ 愛しい子よ 安らぎと穏やかな  
喜びを このゆりかごは 届けてくれる 愛の歌だ  
けに包まれて眠ったら バラとユリがご褒美だ

♪モーツァルトの子守唄

眠れ王子様 羊や小鳥も眠ってる 庭も牧場も  
静まって 蜂すら飛ぶのをやめている  
窓からは月の光がのぞきこむ その銀色の光に  
包まれて 眠りなさい

(それぞれ抜粋、訳詩 宇野道義)  
新しい命、日々成長する喜びに溢れていると思いませんか？

無垢な命に深い溢れんばかりの愛情を感じます。人としての始まりはここからだとも感じます。

嫌な出来事が、世界中で、日本で起こっています。なんの代償もない、ただただ眠っていることに幸せを感じる。そんな中で育つ、当たり前の日々が繰り返されますように。

(編集長 辻千世子)

